

1 学校教育目標

○よく考える子 ○思いやりのある子 ○たくましい子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

| | |
|---------|--|
| ○学校像 | ○保護者・地域との協働で子どもを育てる活気のある学校 ○常に目標を明確に示し、児童の頭と心と体のバランスの良い発達を目指す学校 ○児童一人一人が大切にされ、学ぶ喜びを感じることのできる学校 |
| ○児童・生徒像 | ○地域に根差し、互いの良さや違いを認め合い、助け合える子ども ○基礎的・基本的な学習内容と生活習慣を身につけ、進んで学習する子ども ○常に目標をもって、健康の増進や体力の向上に努める子ども |
| ○教師像 | ○常に自己研鑽に努め、指導力や授業力の向上に努める教師 ○深い児童理解と教育愛に満ち、児童・保護者・地域に信頼される教師 ○組織的に協働し、教育効果を高める職務行動意識の高い教師 |

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

若い教員が増え、校内の活気が増している。授業力や指導力に課題がある教員も少なくないが、学校経営方針のもと、皆熱心に職務遂行に取り組んでいる。児童は明るく素直で、健康面・学習面・生活面に配慮を要する児童に対して全職員が共通理解を図り、素早く、組織的に対応することを心掛けている。学校に対する地域・保護者の期待は大きくPTA、地域も協力的である。区学力調査の結果は、全体71.3%、国語73.0%、算数69.6%の通過率で、昨年度に比べ、全体では2ポイント低下し、国語は6ポイント上がり、算数は3.7ポイント低下した。一昨年度より、各学年とも読解力の向上を目指し国語の研究を進め、足立スタンダードの徹底を目指し成果も見られるようになったが、算数では、数量や図形のへの理解が十分でない、基礎的な計算のミスなど課題も残っているので、S-P表や学力ポートフォリオの作成・分析、3、4年生のそだち指導等も活用し、一人一人の児童の課題や伸びを正確に把握し、日々の授業に加え放課後や長期休業中の補習学習で理解が不十分な個所を重点的に指導し、学校全体として基礎学力の定着を図った。

学校評価項目「児童は仲良く楽しく学校生活を送っている」のに対して、90%以上の保護者が「よくできている」「ややできている」と回答した。開かれた学校づくり協議会の協力も得ながら年間を通し実施している毎朝のあいさつ運動を推進し、日常的に縦割り活動を進める中で、すべての児童に思いやりの心をもって優しく接するという気持ちが育ってきた。

児童の運動能力および筋力、持久力のさらなる向上を目指し、研究授業を通して体育授業や教材、指導内容の工夫に努めた。さらには、持久走週間や縄跳び週間等、一定期間集中的に運動に取り組んできた。令和元年度は東京都の運動能力調査ではわずかであるが都平均を上回る結果が得られた。

4 重点的な取組事項

| | 内 容 | 実施期間（年度） H:平成 R:令和 | | | | |
|---|--------------|--------------------|----|----|----|----|
| | | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 |
| 1 | 学力向上アクションプラン | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| | | | | | | |
|---|------|---|---|---|---|---|
| 2 | 体力向上 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 3 | | | | | | |
| 4 | | | | | | |

5 令和2年度の重点目標

| | |
|-------------------|--------------|
| 重点的な取組事項－1 | 学力向上アクションプラン |
|-------------------|--------------|

| A 今年度の成果目標 | 達成基準 (目標通過率) | 実施結果 (通過率結果) | コメント・課題 | 達成度 ◎○△● |
|------------------------|---------------------------------|-----------------|---------|-------------|
| 文章力、読解力、計算力、数学的な考え方の育成 | ・到達度確認テスト 80% ・令和3年度目標通過率80% | | | |

B 目標実現に向けた取組み

| 新・継 | アクションプラン | 対象教科 実施教科 | 頻度・ 実施時期 | 具体的な取組み内容 (誰が、何を、どのように) | 達成確認 方法 | 達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度) | 実施結果 | コメント・課題 | 達成度 ◎○△● |
|---------|--|-----------------|--|---|--|---|------|---------|-------------|
| 1 継続 | 朝学習 (スキル アップタ イム) | 全児童 国語 算数 | 毎週 火水 (国 語・ 算数) 1校時 開始前 15分 | 【指導者体制】担任 【取組みのねらい・目的】 学習内容の復習確認を行う。 【使用教材】読解、漢字、計 算等のプリント学習 ○付けは各児童、担任等が行 い、当日中に返却 | 2か月に1 回教科を指 定し、ミニテ ストを実施 | 毎回のミニテ ストで全員が正答 率80%以上の 結果を出す。 | | | |
| 2 継続 | 朝学習 (難解な 文章を粘 り強く読 む 読解力向 上への取 り組み) | 全学年 全員 | 金曜の 朝学習 及び 土曜日 1時間 | 【取組みのねらい・目的】 全ての問題に手を付けられ なかつた児童の減少をねら う。 学力調査国語科の過去問題 を及びPISA型プリントを使 用し、設問の理解をねらう。 | 過去問題 4月との比 較 及び 個人カルテ にて経年変 化を見る | 上位層児童5% 中位層児童7% 下位層児童 10%の向上 | | | |

| | | | | | | | | | |
|---------|-------------------|---|---------------------|---|---------------------------|--|--|--|--|
| 3 継続 | 放課後補習教室 | 全学年 国語・算数 正答率 70%未満 単元テスト 正答率 70%未満 | 毎週金放課後 (教科は隔週交代) | 【指導者体制】 担任+専科4名 【取り組みのねらい・目的】 国語…文章読解に関して演習を中心に読解力向上をねらう。 算数…単元終了後1ヶ月後を目安に、学習した内容の再確認、定着をねらう。 【使用教材】 算数…単元復習プリント 国語…読解プリント | 定着度確認テスト (1月実施のワークテスト) | 1月までに実施する定着度確認テストで目標値を通過する対象児童 100% | | | |
| 4 継続 | 家庭学習週間、家庭学習習慣化の取組 | 全学年 全員 | 年2回 6月、12月 | 【取り組みのねらい・目的】 家庭学習強化月間とし、宿題の提出率を確認する。 未実施児童は、当日放課後指導等で課題を終了させる。 | 宿題提出状況調査 | 宿題提出率 100% | | | |
| 5 新規 | 授業規律習慣化への取組 | 全学年 全員 | 年2回 7月、12月 | 【取り組みのねらい・目的】 望ましい授業規律を習慣化するために、授業規律カードにてチェックを行う | 個人カルテにて経年変化を見る | 上位層児童5% 中位層児童7% 下位層児童 10%の向上 | | | |
| 6 新規 | かけ算九九 | 2学年以上 全員 | 年間を通し給食準備時間等 | 【取り組みのねらい・目的】 かけ算九九の全員習得を目指し、全児童確認テストを実施後、未習得児童は、個別にプリント学習を行い、再度確認テストを実施する。 | 確認テスト | 100%の習得 | | | |
| 7 新規 | ICT活用による補習 | 中位層 下位層 児童 | 放課後 適宜 | 【取り組みのねらい・目的】 日常の授業の理解力向上のためタブレット等を活用し、授業の要点の確実な定着を図る。成果を日常のワークテストで確認する。 | 個人カルテにて経年変化を見る | 中位層児童7% 下位層児童 10%の向上 | | | |

| 重点的な取組事項－２ | | 体力向上 | | | |
|-------------------|--|---|------|---------|-----|
| A 今年度の成果目標 | | 達成基準 | 実施結果 | コメント・課題 | 達成度 |
| 心身ともに健康な児童の育成 | | 都運動能力調査で、全学年・全調査項目で都平均を上回る。筋力・投力の向上 | | | |
| | | | | | |
| | | | 実施結果 | コメント・課題 | 達成度 |
| 体育科授業の改善 | 保護者・地域に向けた体育科公開授業を11月に実施、全ての児童が楽しいと思う体育授業の実現 | 恵まれた自然環境を活用し、運動量が確保できる授業実践、投力、持久力向上のための教材や指導法の工夫を行う。 | | | |
| 年間を通した体力向上の取組 | 校庭、体育館だけでなく特別教室、近隣公園等、様々な場所で運動を行う機会の提供。 | 学年の発達段階に応じた題材や教具を工夫して体力向上の取組を進める。 | | | |
| 自己の運動記録に挑戦する意欲の高揚 | 全児童が年間を通した個人の体力カード活用、行事や運動月間ごとに学校記録の更新を行う。 | 体力テスト・短距離走・持久走・縄跳び等の個人記録を整理し、指導に役立てるとともに家庭や地域とも連携した取組の推進。 | | | |

6 まとめ

1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）